

老子摘解

坤

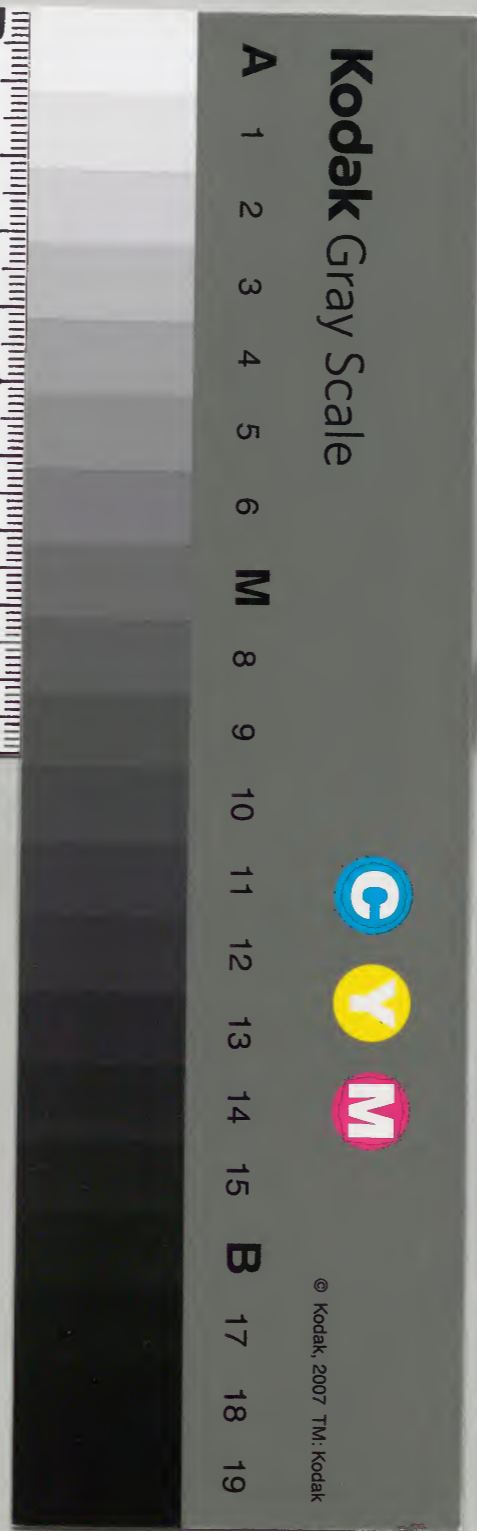
番外書冊

和	276	二四六一號	六六函	六架	二冊	和書門類
---	-----	-------	-----	----	----	------

和	二四六一號	二冊	九函	和書
---	-------	----	----	----

內閣文庫	番號	和 24601
	冊數	2 (2)
	函號	191 270

新刊納本



老子摘解卷下

荅陽廣先生著

男孝校

淺草文庫

以正治國章

以正治國。以奇用兵。以無事取天下。

國ヲ治ルニハ、正ヲ以テメ、奇ヲ以テセ
用ルニハ、奇ヲ以テメ、正ヲ以テセ
ス、此ニ句ハ

物事各其宜キ處アルヲ云ヘリ、天下ヲ取ルニ
至テハ、無事ヲ以テスヘクシテ、多事ヲ以テス

老子摘解卷下

男孝校

ヘカラス、是其宜キ處ナリ、上ノ二句ハ、古今ノ
通例ニテ、人人ノ周ク知ル所ナリ、無事ノ一句
ハ、人ノ知ラサル所ナリ、故ニ人ノ周ク知ル所
ヲ引テ、其知ラサル所ヲ喻シタル者ナリ、老子
ノ至意ハ、全ク下ノ一句ニアリ、コノ取ルト云
フハ、攻メ取り奪ヒ取ル事ニ非ス、只人ノ心ヲ
此方ヘ懷ケテ、思フトヨリ治ムルヲ云フナリ、
吾何以知其然哉。以此。

此句ハ、無事ヲ以テ人ノ一句ヲ受テ云フナリ、天
下ヲ治ルニハ、無事テナケレハ、テキ又ト云フ
ハ、此譯ヲ以テナリ、此トハ、下ニ云ヘル四ヶ條
ノ事ヲサスナリ、

夫天下多忌諱而民彌貧。

是ヨリ以下ハ、多事ノ惡キトヲ擧ケタルナリ、
忌諱トハ、忌ミ嫌ヒナリ、方角時日ナトノ吉凶
ヲ詳ニスルヲ云フナリ、不吉ヲ忌ミ嫌フテ之

老子論解卷下

ヲ○避○ル○ハ○福○ヲ○得○ン○カ○爲○メ○ナ○ル○ニ○却○テ○貧○乏○ニ
ナ○ル○ナ○リ○一○事○ヲ○舉○ケ○テ○云○ハ○家○相○ヲ○論○ス○ル
者○ハ○ア○リ○キ○タ○リ○ノ○家○ヲ○ウ○チ○ク○ツ○メ○建○テ○カ○ユ
ル○一○ア○リ○其○物○入○リ○身○代○ニ○サ○ワ○ル○ニ○至○ル○是○福
ヲ○求○メ○ン○ト○人○却○テ○財○ヲ○損○ス○ル○ナ○リ○

人多利器。國家滋昏。

利○器○ト○ハ○便○利○ナ○ル○道○具○ナ○リ○昏○ト○ハ○物○カ○ワ○カ
ラ○又○様○ニ○ナ○リ○テ○ク○ラ○ヤ○ミ○ニ○ナ○ル○ト○云○フ○一○ナ

リ○譬○へ○ハ○轎○ト○云○フ○モ○ノ○ハ○便○利○ナ○ル○者○ナ○リ○是
ヲ○始○ム○レ○ハ○武○士○ナ○ト○モ○馬○ニ○乗○ル○一○ヲ○休○メ○テ
轎○ニ○ノ○ル○様○ニ○ナ○ル○サ○ス○レ○ハ○馬○術○ス○タ○リ○テ○國
ノ○武○備○カ○昏○ク○ナ○ル○ノ○類○ナ○リ○

民多技巧。奇物滋起。

技○巧○ト○ハ○細○エ○ヲ○ヨ○ク○ス○ル○一○ナ○リ○奇○物○ト○ハ○正
シ○カ○ラ○サ○ル○者○ナ○リ○譬○へ○ハ○細○エ○ヲ○上○手○ニ○ス○ル
者○多○ケ○レ○ハ○質○金○質○札○ナ○ト○ヲ○自○由○ニ○コ○シ○ラ○ユ

ル。様ニナル、是奇物。滋起ルナリ、
法令滋彰。盜賊多有。

法令ハ惡ヲ禁スルタメナレハ、夫ヲ明白ニシ
タラハ、盜賊ナトハ絶ユル程ニモアルヘキヲ
却テ多クナルナリ。譬ハ、博奕ノ制。禁キヒ
シケレハ、今マテ博奕ヲセシ者トモ、渡世ノ仕
方ナクテ、ミナ盜賊ニナルナリ、
以上ノ四ヶ條、皆國ヲ治ムル人カ、ヨシト思フ

テ始メタル事ナレバ、却テ害ニナル事アリ、是
ニテ、多事ハ無事ニ如カスト云フトヲ知ルヘ
シトナリ、

故聖人云。我無爲而民自化。我好静而民自正。我無
事而民自富。我無欲而民自樸。

コ、ハ無事ヲ以テ天下ヲ取ルト云フトヲ、古
聖人ノ言ヲ引テ、證據トシタルナリ、聖人トハ
黃帝ナトノ類ナルヘシ、下ノ四句ハ、大抵同意

ナリ、爲化靜正事、富欲撲ト韻ヲ合セテ、少シツ
、辭ヲカヘタル者ナリ、大意上タル人ハ、只無
事ニメヲレハ、自然ニ治マルト云フ、一ヲ明カ
シタル者ナリ、

天下ヲ治ムルニ、無事ヲ以テスルハ、老子ノ常
言ナレ、凡、此章ハ、四ヶ條ノ事ヲ舉タル處、至意
ナリ、此四ヶ條ハ、眼前ニアル、一ニテ、常人モ心
付、一ナリ、夫ヲ舉ケテ、無事ノ貴キ、一ヲ知ラセ

タル者ナリ、

其政悶々章

其政悶々。其民醇々。其政察々。其民缺々。

悶々トハ、フサハケニメ、黑白ノハキトセ又様
子ナリ、醇々トハ、アツキナリ、察々トハ、黑白分
明ナルナリ、缺々トハ、カケタル、一アリテ、タラ
ヌ様子ナリ、言コ、口ハ、政事ノ仕方、フサハケ
ニアリテハ、惡シキ筈ナレ、凡、民ノ風ハ、却テア

ツクナリ、政事ノサハケスキタルハ、ヨキ筈ナ
レトモ、事多クナリテ、却テ民カタラヌ様ニ
ナルナリ、

禍兮福所倚。福兮禍所伏。孰知其極。其無正耶。

此四句ハ、悶々ノ察々ニ勝ルヲ云ハントテ
禍福ノ上ニ就テ、其理ヲ論シタル者ナリ、禍兮
福所倚トハ、禍ハ人ノ嫌フ處ナレト、却テ福ハ
夫ニヨリカ、リテアルナリ、譬へハ、勾踐カ會

誓ニ苦ミシハ、禍ナレト、夫ヨリ忿激ノ霸業ヲ
ナス様ニナレリ、又福ハ人ノ好ム處ナレト、其
中ニ禍カ伏シ隠レテアルナリ、譬へハ、夫差カ
勾踐ニ勝タルハ、福ナレト、夫ヨリ驕ヲ生メ、遂
ニ滅亡ニ至ル、極トハ、動又ナリ、正トハ、定リ
タルナリ、イツレ定リタルハ、ナキナラント
云フ心ナリ、四句ノ大意ハ、禍福ハ定ラヌ者ナ
リ、悶々タル者ハ、格別ニ福ヲ求メス、禍ヲ避ル

一七少シ夫カ却テ仕損シ少キナリ、察々タル者
ハ、禍ヲ避テ、福ヲ求ル一ヲ、專一ニスル故、仕過
シ出来テ、却テ宜シカラヌト云フ心ナリ、
正復爲奇。善爲妖。民之迷。其日固已久矣。

此四句ハ、善惡ノ定ラヌ一ヲ云ヒタルナリ、
ト正シト思フテセシ一カ、却テ奇トナル、奇ハ
正シカラヌナリ、モト善ト思フテセシ一カ、却
テ妖トナル、妖モ奇恠ニノアシキ一ナリ、譬へ

ハ、上章ニ云フ、法令ヲ正シクスルハ、正ナリ、善
ナリ、然レモ夫ヨリ盜賊ヲ生スルハ、奇ナリ、妖
ナリ、銀札ヲツクルハ、民ヲ利スル爲メニテ、正
ナリ、善ナリ、然レモ質セ札カ繁昌シ、又ハ國ニ
正錢カ少クナルハ、奇ナリ、妖ナリ、民カヨキト
思フテシタル一カ、變ノアシキ一ニナル故、イ
ツレニ向ヒテ行テ宜キヤラント、方角ニ迷フ
一カ久シキナリ、此四句ハ前ノ禍福ノ道理ニ

テ、悶々トアレハ、善惡ヲアマリワカタ又故却
テヨシ、察カトアレハ、夫ヲワケ過ズ故ニ、却テ
惡シト云フ心ナリ、
是以聖人方面不割。

是以トハ、禍福邪正ハ、定ラヌト云フ故ヲ以テ
ナリ、聖人ノ事ヲ行フハ、四角ニハアレハ、カニ
テ切りタル様ニ、四角スキハセ又ナリ、
廉而不剝。

廉ハカトヒシノアルナリ、剝ハヤフリ傷クル
ナリ、カトヒシアレハ、餘リカトタチスキテ、ソ
レニ觸タル者ハ、傷カツクト云フホトニハセ
又ナリ、
直而不肆。
直ハスクナルナリ、肆ハノフナリ、スクニハア
レハ、竹竿ナトノ様ニテ、向ヘノブレハ、物ヲツ
ク様ニハナキナリ、

光而不耀。

光リハアレレ、行燈ノ中ノ火ノ如シ、外ニ蔽ヒ
アル故、耀キ過テ人ノマバユキ様ニハナキナ
リ、方而不割以下ノ四句、皆一意ナリ、禍福邪正
ハ、定リナキ者ナレレ、一向ニソレヲ分タヌ
ハナラヌ故ニ、方ト云ヒ、廉ト云ヒ、直ト云ヒ、光
ト云ヒ、イカニモ、禍ハ福、福ハ福、正ハ正、邪ハ邪
ト、理ノ當然ヲ以テ、サハキヲツクル處ナリ、不

割不劇不肆不耀トハ、福ノ中ニ禍アリ、正ノ中
ニ邪アルヲ知リタル故、格別ニサハキヲツ
ケ過サス、物事七八分ニノ置ナリ、カクノ如ク
スルヲ、傍ヨリ見レハ、ユキ届カヌ様ニ見ユル、
即チ悶々ナリ、夫カ實ハ政事ノ上手ナリ、此章
ノ趣意ヲ、醫事ニ譬ヘテ云ハ、上手ノ醫者ハ、
痼疾沉痾ナトヲ治スルニハ、餘リ劇劑ヲ用ヒ
ス、マタ疾ヲモセ七八分ナヲノ悉クハ治セス、故

二○白○人○ヨ○リ○見○レ○ハ、療○治○力○手○ヌ○ル○キ○様○ニ○見○ユ、
然○レ○凡○疾○ノ○悉○ク○ハ○除○キ○難○キ○ヲ○知○リ○テ、尤○様
ニ○ス○ル、是○カ○上○手○ノ○處○ナ○リ、未○熟○ノ○醫○者○ハ、病○ノ
淺○深○體○ノ○強○弱○ヲ○論○セ○ス○シ○テ、病○ト○サ○ヘ○云○ハ、
一○概○ニ○是○ヲ○攻○ル○故○或○ハ○病○愈○テ○體○ツ○キ、或○ハ○病
愈○テ、又○別○ニ○一○病○ヲ○生○ス○ル○ナ○リ、是○カ○問○々○ト○察
々○ト○ノ○チ○カ○ヒ○ナ○リ、老子ノ言ハ、誠ニ老○功ノ言
ナリ、未○熟ノ徒ノ知ル所ニ非ス、

天下皆謂我章

天下皆謂我大似不肖。
天下ノ人カ、老子ヲ評メ、廣大ナル人ナレバ、不
肖ニ似タリト云フ、不肖トハ、俗スト訓メ、取締
リナク、ケ様ニアルト、物ニ譬ヘテ云ハレヌナ
リ、俗ニハツトシタル人ト云フカ如シ、
夫惟大。故似不肖。若肖。久矣其細。
是ハ老子ヨリ、人ニ申シ譯ヲシタル言ナリ、世

人ノ申ス所ハ、大ナル處ハヨシト雖モ、不肖ナ
ルカアシ、ト云フ心ナルヘケレト、大ニアレ
ハ、是非トモ不肖ニ見ユルナリ、モシ物ニ譬ヘ
テ言ハレル様ニナリテハ、トクヨリ細キ一ニ
ナルナリ、

我有三寶。寶而持之。

是ヨリ以下ハ、人カ老子ノ道ノハツトシタル
所ニ困ルユヘニ、形容ヲ設ケテ、其方角ヲ合點

スル様ニ云ヒタル所ナリ、吾道ヲ知ラント思
ハ、我ニ三ツノ寶アリ、其譯ヲ知りタラハ、目
印シカ出來テ、取ツキ處アルヘシトナリ、寶而
持レ之トハ、老子平生此三ツヲ大切ナル者ニメ
取ハツサヌ様ニシテ居ルトナリ、
一曰慈。二曰儉。三曰不敢爲天下先。
三寶ノ第一ハ、慈悲ナリ、慈悲トハ、親ノ子ヲ育
ツル如ク、善人惡人ノ差別ナク、一切之ヲ育テ

夫、疵ヲツケヌ様ニスルハナリニハ儉約ナ
 リ、儉約トハ財用ニ限ルトニ非ス、成文言フト
 モ爲ストモ少ナキ程ヲヨシトスルナリ、三ニ
 ハ人ヨリ先キニ事ヲセヌナリ、何事モ人ノ思
 ヒ立タル上ニテ、夫ニ從フテ事ヲスルナリ、天
 下トハ一切ノ人ト云カ如シ、此三ツノ處ヨリ、
 老子ハ道ヲ學ビナハ、其方角カワカルヘジ、
 慈故能勇。

是ヨリ三寶ノ功能ヲ述ヘタルナリ、慈悲ニア
 ル故ニ、強敵ニモ能ク勝ツ、コレ勇ナリ、漢ノ高
 祖ノ寛仁ヲ以テ、項羽カ強暴ナルニ勝ツノ類
 ナリ、

儉故能廣。
 儉約ニアル故ニ、施シカ廣ク一切ニ及フナリ、
 漢ノ文帝ノ百金ヲ惜ミテ、露臺ヲ作り玉ハサ
 リシカ、天下ノ民ニハ、シハシハ租税ヲ免シ

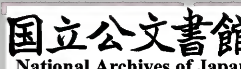
五フノ類ナリ、
不敢為天下先。故能成器長。

成器長トハ、一器量アル者ノ頭ナリ、漢高祖國
ヲ治ルハ、蕭何ニ委子、謀畧ハ、張良ニ問ヒ、合

戰ハ、韓信ニ任セテ、自己ノ了簡ヲ用ヒサルノ
類ナリ、

今捨慈且勇。捨儉且廣。捨後且先。死矣。
コ、ハ三寶ヲ用ヒサル者ノ害ヲ云フナリ、且

トハ、先ツト云フ心ナリ、慈悲ヲサシヲキテ、先
ツ最初ヨリ勇ヲスレハ敗ル、項羽力如キ者是
ナリ、儉約ヲサシヲキテ、最初ヨリ手廣クセン
トスレハ、窮乏ニ至ル、漢ノ武帝ノ如キ者是ナ
リ、人ニ後レスシテ、最初ニ事ヲ仕始ムレハ七
フ、陳涉吳廣力如キ者是ナリ、品ハカハレテ、孰
レモ死セテ取ル仕方ナリ、
夫慈以戰則勝。以守則固。天將救之。以慈衛之。



大コ、ハ又慈ノ功能ヲクリカヘシテ云ヒタル者ナリ、三寶ヲ残ラスイヘハ煩ハシキ故ニ、第一ノ事ヲ舉ケテ、餘ノニツヲ略セシナリ、慈ト云フ一他事ニハヨシトイヘトモ、戦闘ノ上ニハ用ヒ難シト思フ人アリ、是然ラス、以戦則勝トハ、仁ヲ以テ不仁ヲ伐ツユヘニ必勝ナリ、以守則固トハ、我士卒ミナ仁恩ニ懐キタルユヘ、籠城シテモ、ニ心ナク守ルナリ、慈ヲ以テ身ヲ

守ル者ハ、假令敗北スル一アリモ、大方ハ天ノ救ヒカアル者ナリ、故ニ滅セスルニ至ル氣遣ヒナシトナリ、或問テ曰、老子ハ、道可道非常道ト云フテ、仁義孝悌等ノ名目ヲ捨テ、專無名ヲ貴ス、然ルニ今三寶ノ名ヲ立テ、人ヲ教ユル者ハ、何ソヤ、答テ曰、三寶ト云フ一、實ニ其名目アルニ非ス、只一箇ノ無ノ字ヲ形容シタル言ト知ヘシ、只無ヲ

守リテサヘヲレハ、自然ト物ヲ害ヒ傷クル
 ナシ、其處ヲ慈ト云ヒタルナリ、無ヲ守レハ、多
 事ナラス、多慾ナラス、故ニ自然ト儉ニナリ、無
 ヲ守レハ、事ヲ思ヒ立ツコトナク、自然ト人ノ後
 ニナル、始ヨリ三ヶ條ト立テ、之ヲ守ルニハア
 ラス、然ルヲ寶トメ之ヲ持スルト云ヒシハ、人
 不肖ニ似タリト云ヒシ故ニ、己ムコトヲ得ヌノ其
 方角ヲ知ラセタル者ナリ、讀者辭ニ泥ムヘカラス、

善爲士者不武章

善爲士者不武。

此章ハ、不爭ノ徳ヲ明カニセリ、士ハ武ヲ貴フ
 者ナレト、善キ士ニ至リテハ、武猛ニハ見ヘヌ
 ナリ、韓信カ胯下ヲク、リテモ、劍ヲ抜カサリ
 シカ如シ、

善戦者不怒。

戦ヒハ怒リヲ至トスル者ナレト、上手ハ然ラ

ス、司馬仲達カ孔明ヨリ巾幗ヲ贈リテ辱メタ
レ、氏終ニ怒ラスメ戰ハサリシカ如シ、
善戰者不與。

與スルトハ、相手ニナルナリ、梁ヨリ趙ヲ圍ム時、
孫子齊ノ將トナリテ趙ヲ救フニ、趙ニ趨カスシテ
梁ヲ襲ヒタレハ、趙ノ圍ハ自ラ解ルノ類ナリ、
善用レ人者爲之下。

漢ノ高祖ノ我不如蕭何、不如韓信、不如子房ト

云ヒテ、三傑ヲ用ヒ玉ヒシカ如シ、

是謂不爭之德。

是ヲトハ、以上ノ四ヶ條ヲ一ツニモ言ヒタル
ナリ、一言ニイヘハ、皆向ノ人ト不爭シテ之ニ
勝ツノ法ナリ、

是謂用レ人之力。

又其上ニモイヘハ、已カカヲ用ヒスノ、人ニ骨
折ラセテ功ヲ立ル仕方ト云フモノナリ、

是謂配天。

尚モ其功ヲ贊メイハ、天ノ萬物ヲ主宰シ玉

具フ妙所ニ配合ノ同シナリ、

古之極也。

コ、ハ古聖人極意秘密ノ傳ナリ、反ス反スモ

贊歎シタル辭ナリ、

用入之カト云フ、人ヲ用ルニ限ラス、合戰ノ

時モ、敵ヨリ戰ヒヲ挑メ、固ク守リテ戰ハサ

レハ、彼自ラ疲ル、ナリ、其疲レヲ伐テハ勝子

易シ、是敵ニカヲ用ヒサセテ、敵ニ勝ツナレ

ハ、敵ノカヲ我方ニ用ユル道理ナリ、是老子秘

訣ノ處ナリ、堯舜此秘ヲ得玉フ故ニ、垂拱メ天

下治マリ、孔子此秘ヲ得玉フ故ニ、不憤不啓、不

悱不發、三千弟子ノ才德ヲ成就シ玉フ、造化

此秘ヲ得ル故ニ、無爲ニメ四時行ハレ、百物生

スルナリ、故ニ古之極也ト贊歎セシ者ナリ、

出生入死章

出生入死。生之徒十有三。死之徒十有三。民之生動之。死地亦十有三。夫何故。以其生々之厚。

此章ハ、世人長生ヲ貪リテ、却テ其壽命ヲ損スルノ惑ヒヲ解キタル者ナリ、出生入死トハ、人間一生、生ノ朝ヨリ死ノ夕ニ至ル迄ヲ束子テ云ヒタルナリ、生ヲ出テ死ニ入ルハ、誰モ同シトナレド、其中ニ養生ノ道理ニ叶ヒタル行ヒ

ノ者、十ニシテ三ナリ、是ハ惡ヲセス、不養生ナルヲ慎ム類ナリ、長生ノ道ニ叶ヒタル故、生ノ徒ナリ、又生ノ欲ヲ恣ニシ、不養生或ハ惡業ヲスル者十ノ三、是ハ死ノ徒ナリ、又長生ヲセント思ヒ、種々ノ道ヲ盡スト雖モ、善ト思ヒシ一カ、却テ惡トナリ、養生カ却テ不養生トナリ、其命ヲ縮ムル者アリ、是亦十ノ三ナリ、生々トハ、吾身ヲ養フ一ナリ、厚トハ、念カ入り過クル

ト云フ心ナリ、此章ノ意ハ、生ノ徒死ノ徒ト分
ケタルハ、誰モ知ルコトナリ、唯生々ノ厚キ故ニ、
命ヲ縮ムト云フコト、人ノ心付カ又處ナリ、生ノ
徒死ノ徒ハ容ナリ、生動モスレハ死ニ之クト
云フコト、此章ノ至意ナリ、蓋聞善攝生者、陸行不遇兕虎、入軍不避甲兵。
吾聞トコロヲ以テスレハ、上手ニ養生ヲスル
者ハ、山中ニ獨行シタリトテ、兕虎ノ如キ猛獸ニ

出合ヒ、傷ケラル、氣遣ヒナシ、又軍中矢石ノ
中ニ入りタリトテ、傷ケラル、コトナシ、夫故甲
兵ヲ避ル用心ニ及ハヌナリ、兕無所投其角、虎無所措其爪、兵無所容其刃。
其故ハ、兕モ角ヲ以テツクヘキ場所ナク、虎モ
爪ヲウチカクル所ナク、兵モ刃ヲ用ユル所ナ
シ、夫故何ノ氣遣ヒニモ及ハヌナリ、
夫何故、以其無死地焉。

夫同ク肉身ナルニ、左様ノ一ニ逢フ氣遣ヒナシ
 トハ、何ヲ以テ知ルヤ、畢竟死地ト云フ者ナキ
 故ニ、一切ノ心遣ヒニ及ハヌナリ、死地トハ、人
 ノ生死ハ、皆吾身ニ兼子テ所持シタル場所ア
 リ、生ニハ生ノ地アリ、死ニハ死ノ地アリ、人ニ
 ヨリテ異ナルナリ、尤ソ死スル者ハ、皆死スヘ
 キ場所ヲ我身ニ所持シテアルナリ、故ニ時節
 到來スレハ、是非凡死ヲ免レス、生地ヲ所持シ

タル者ハ、死スル氣遣ヒナシ、故ニ危キ場所ニ
 臨ミテモ、氣遣フ一ハナキナリ、譬へハ、疫癘ナ
 ト大ニ行ハレタルニ、十人ニハ人死シ、二人ハ
 何ハ病モナシ、是ハ人ノ者ハ死地アリ、二人ハ
 死地ナキカ故ナリ、凡人ノ目テ見レハ、生地死
 地ハ事ノ迹ヨリ見ルニ非レハ、知リ難シ、有道
 者ハ上ニテハ、至テ明カニ見ユル故、用心スル
 ニモ及ハヌナリ、其故ハ、生死皆數アリ、數満テ

而ノ死ス、有道者ハ兼テヨリ數ヲ見透シタリ、
 夫故トテモ死ノ到來スル時節ハ、當分ハナキ
 ト云フヲ、明カニ悟リタル故、騷カ又ナリ、古
 人ノ身分ニ譬ヘテ言ハ、柳下惠カ魯ニ居リ、
 蘧伯玉カ衛ニ居リ、晏平仲カ齊ニ居リ、季札カ
 吳ニ居リ、張良カ漢ニ居ルノ類是ナリ、爭奪變
 化ノ間ニ居リ、衆人皆危フメ、己ハ晏然トシ
 テアルハ、我ニ死地ト云フ者ナキヲ、自ラ知

リテ居ルナリ、是衆人ノ目ニカ、ラヌトテ、
 知者獨リ知ルノ境ナリ、老子ノ意深ヒカ大

治人事天章

治人事天莫如嗇。

是ハ老子ノ道ニ、下字ノ秘傳アルヲ云ヘリ、
 治人事天トハ、帝王ノ業ヲサシタルナリ、帝王
 ノ職ハ、下ハ下民ヲ治メ、上ハ上天ニ事フルナ
 リ、王者ノ道唯嗇ノ一字緊要ナリ、嗇トハ、節チ

吝嗇ノ字ナリ、然レモ財用ノ一ハ至ニ非
 ス、萬事ニ付ケ、儉嗇ナルヲ善トス、事ヲスルモ、
 言ヲ言フモ、一切ノ一、是ヲ惜ミテセ又様ニス
 ル、是カ嗇ノ理ナリ、
 夫唯嗇。是以早復。

嗇ヲ尚フユエンハ何ソヤ、人ハ氣ニ因テ立ツ
 者ナリ、草木ノ根柢アルカ如シ、多事ノ人ハ氣
 ヲ勞スル一強キ故、元氣早ク衰ユルナリ、譬へ

ハ、草木ヲ朝暮ニ植へ易ユルカ如シ、氣ト體ト
 離レテ枯ルナリ、枯レサルモ亦傷ム、嗇ニノ居
 レハ、元氣動カス、一旦元氣衰へテモ、元ノ通り
 ニ復ルナリ、夫故、氣カ丈夫ニナリテ、妄ニ動カス、
 早復謂之重積德。
 元氣早ク復スレハ、其後氣ヲ損スル一ヲセス、
 故ニ、氣カ段々積ミ重ナルナリ、氣ハ即チ德ナ
 リ、一切ノ事ノ本トナル、故ニ是ヲ德ト云ヒタ

ルナリ、重積德則無不克。

克セサルナシトハ、如何様ノニ差向ケテ
モ、少シモ退屈スルナシ、氣ヲ能ク煉リタル
者ハ、久ク食ハス所、餓ルナシ、寒中ニモ、衣服
ヲ假ラスシテ凍ルト云フナク、或ハ水火ニ
投シ、兵刃ニカ、リテモ、亦傷クナシ、是ヲ無
不克ト云フナリ、

無不克則莫知其極。可以有國。

莫知其極トハ、長壽ナルヲ云フ、此ノ如クナレ
ハ、其身ヲタモツノミナラス、國家モ亦タモツ
可シ、九ノ、國家ヲタモツハ易ク、身ヲタモツハ
難シ、既ニ能ク長壽無涯ナレハ、其道理ヲ以テ
國家ヲタモツハ、一層易キナリ、
有國之母。可以長久。
肉身サハ堅固ニメ、數百年ヲ經ル、況ヤ國家ヲ

ヤ、人ヲシテ壽ナラシムルハ氣ナリ、此氣ト云
フ者、一切ノ物ヲ生スル故、是ヲ母ト云ヒタル
ナリ、身ニ在テハ身ヲタモテ、國ニ在テハ國ヲ
タモツ、一切ノ母ヲ我物ニシタル者ナリ、
是謂深根固蒂。長生久視之道。

此畜ノ字ヨリエ夫スレハ、氣ニ氣カ積モリテ、
際限ナキヲニナル、譬ヘハ、金銀ヲ使フヲ少キ
程增長スレハ、其富限ナクナル道理ナリ、深根

トハ、草木ノ根ヲ深ク土ニ埋メ置キテ動カサ
ヌカ如シ、固蒂ハ、果ノ蒂ヲ固クシ、其實ヲ動カ
サス、烈風ニ逢ヒテモ、落ルト云フヲナシ、皆元
氣ノ本ヲ深ク養ヒタルヲナリ、是ハ元來長生
久視ノ道ナリ、久視トハ、一ノ物ヲ終日見ツメ
テモ、瞬セヌヲナリ、元氣満足スル者、カクノ如
シ、此所ハ、老子平日身ニ行フテ、覺ヘノアール
ナリ、因テ其道ヲ治國ニ施スナリ、

老子高解卷下

九三

此章ハ老子ハ養生家ニテ、仙術ヲ行フ者ノ祖トスル所ナリ、養生治國一理ナリ、因テ今國家ヲタモツ者ノ爲メニ、其法ヲ説キ、養生ノ理ヲ以テ、之ヲ治國ニ施スナリ、一部ノ中、其理處々ニ見ヘタリ、唯此箇ト云フ一字ハ、其義極テ淺ク、平人モ修行成就スヘキナリ、故ニ之ヲ釋ス我朝ハ江村專齋百歳ノ壽ヲ保チシ人ナリ、後水尾天皇ヨリ養生ノ方ヲ問ヒ玉ヒシ

ニ對ヘテ、臣平日一ハ此ハ字ヲ持スルハ、飯ヲ喫スルモ此言語モ此一切ハ作事モ此養生モ亦些ト對ヘタリ、此ハ字、即チ畜ノ義ナリ、

天下有道章

天下有道。卻走馬以糞。天下無道。戎馬生於郊。此章ハ、多欲ノ害ヲ言ヒタルナリ、天下有道トハ、明至上ニ在テ、諸侯各ノノ封疆ヲ守テ動カサル時ノ事ナリカ、ル時ハ、千里ヲ走ル駿馬

アリト雖モ之ヲ合戰ニ用ユルヲ無キユ工、無
 用ノ物ナリ、故ニ之ヲ卻ケテ田ニ培フノ用ト
 スルナリ、天下無道ニテ、諸侯相爭フ時ニ至リ
 テハ、郊野ニアル農夫ノ馬マテモ、之ヲ引上ケ
 テ、戎兵ノ用ニスルナリ、有道無道ノ差別ハ、他
 ノ事ニアラス、已カ分ニ安ンノ無欲ナルト、人
 ノ物ヲ我物ニセント思フ多欲ナルトニアル
 一ナリ、

罪莫大於可欲。禍莫大於不知足。咎莫大於欲得。

此ハ上ノ戎馬生於郊ト云フヲ、兼ケテ言ヒタ
 ルナリ、諸侯ヨリ他國ヲ伐ツニハ、必彼方ハ罪
 ナク鳴テテ、征伐スルナリ、然レモ其實ハ罪アル
 ニ非ス、其土地ヲ奪シカ爲メナリ、土地ト云フ
 者ハ、人ノ欲スル物ナリ、人ノ欲スル土地ヲ我
 所持シタルカ、即チ罪ノ種ナリ、又他國ヲ侵メ
 兵敗レ滅亡ニ至ル者アリ、是禍ナリ、咎ナリ、此

禍ト咎トハ、兵ノ用ヒ方カ悪キニハ非ス、元來
己カ國ヲ持ナカ夫ヲ不足ニ思ヒ、尚モ隣國
ハ地ヲ我物ニセント思フ欲心、即禍ト咎トハ
種ナリ、

故知足之足常足。

前ノ通りノ譯ユヘニ、人ハ足ルヲ知ルニ如
クハナシ、人ノ欲ニモ大小アリ、天下ヲ得テ足
レリトスルアリ、一國ヲ足レリトスルアリ、一

家ヲ足レリトスルアリ、是等ノ人ハ、皆己カ望
ミアリテ、其望ミ満サレハ不足トス、但足ル
ヲ知ル者ハ然ラス、天子トナレハ、天下ヲ以テ
足レリトシ、士庶人トナレハ、一簞ノ食一瓢ノ
飲ヲ以テ足レリトス、分ニ隨ヒ、命ニ安ニスル
故ニ、多キモ亦足リ、少キモ亦足ル、是ヲ常ニ足
ルト云フ、
此章ハ、深ク人ノ欲ヲ戒メタルナリ、韓信彭越

ハ、謀反ニテ誅セラレタレ、凡、實ハ謀反ノ罪ハ
 小ナリ、大國ヲ領シタル罪カ大ナル故ニ、殺サ
 レタリ、吳王濞ハ七命ヲ納レ、鹽ヲ煮、錢ヲ鑄ル
 ハ罪ヲ以テ削ラレタリ、然レ、凡、其罪ハ小ナリ
 是モ大國ヲ領シタル罪カ大ナル故ニ、削ラレ
 タリ、大國ヲ領スルハ、罪ニハ非レ、凡、罪ヲ得ル
 根源ハ、此處ニアル故ニ、罪ト云ヒタルモ、ハナ
 リ、是罪莫大於可欲ノ義ナリ、又、韓信カ雲夢ニ

擒ニセラレ、長樂ニ誅セラレ、禍咎ハ小ナリ、
 是ハ免ル、仕方モアルヘシ、初メ足ルトヲ知
 ラス、人齊ニ假玉タラントヲ欲セシ禍咎ハ大
 ナリ、此一念滅族ノ根源ニ、ノ、救ヒカタキ所ナ
 リ、是ヲ禍莫大於不知足、咎莫大於欲得ト云ハ
 ルナリ、世人ノ罪禍ヲ避ルハ、其末ニ心ヲ用ヒ
 老子ハ其本ニ心ヲ用ヒタリ、是老子教ヲ施ス
 ノ深切ナル所ナリ、等閑ニ看過スヘカラス、

吾言甚易知章

吾言甚易知。甚易行。天下莫能知。莫能行。

此章ハ世上ノ人、老子ノ意ヲ知ルモノナキ又
 感歎ノ云ヒタルナリ、吾言ハ知リ易ケレト、知
 ル人ナク、行ヒ易ケレト、行フ人ナシ、難クノ知
 ラス行ハサルハ、是非モナシ、易キヲ知ラス
 行ハサルヲ、實ニ歎息スヘシト云フ心ナリ、
 言有宗。事有君。夫唯無知。是以不我知。

此段ハ、易キ事ナレト、知ル人ノ少キ所以ヲ言
 フナリ、凡ソ天下一切ノ言ノ中ニ、宗ニナル言
 アリ、宗トハ本家ノ一ニテ、至トナルナリ、一切
 ノ事ノ中ニ、君トナル事アリ、其譯ヲ知ル者ノ
 シ、老子ハ平日言ノ宗ヲ云ヒ、事ノ君ヲ行フハ
 ナリ、世人其所ニ目ヲ附ケス、故ニ老子ノ貴ヲ
 可キヲ知ラヌナリ、言ノ宗トハ何ソヤ、不
 ノ教是ナリ、事ノ君トハ何ソヤ、無爲ノ事是ナ

リ、我事アレ。凡言ハス、人ノ言ヲ以テ言トス。此ノ如クナレハ、言天下ニ盈ツレ。凡口ノ過チナシ、我事アレ。凡爲サス、人ノ事ヲ以テ事トス。此ノ如クナレハ、行ヒ天下ニ盈ツレ。凡怨之惡マ
ル、一ナシ、此ノ如クナレハ、逸アリテ勞ナシ。功アリテ過ナシ、是ヲ言ノ宗事ノ君ト云フナ
リ、
知我者稀。則我者貴矣。是以聖人被褐懷玉。

人ノ我ヲ知ラヌハ、歎スヘキ一ナレ。凡其實ハ知ル者少キカ貴キ道理ナリ。譬ヘハ、夜光ノ珠モ、家コトニ所持シタル者ナラハ、石瓦モ同然ナリ。世上ニナキ者ヲ、我ノミ珍藏シタル故ニ貴キナリ。是ヲ以テ、昔ノ聖人モ被褐懷玉人アルナリ。褐ハ賤者ノ服ナリ。玉ハ徳ニ譬ヘタル者ナリ。被褐懷玉トハ、貧賤ニ居テ徳ヲ包ミ隠シタルヲ云フ。傳説カ胥靡トナリ、太公カ渙父ト

ナル是ナリ、老子柱下ノ史トナリシモ、亦其心
 ナリ、
 和 大 怨 章
 和 大 怨 必 有 餘 怨。安 可 以 爲 善。
 此 章ハ、人ト和合スルヲ言ヘリ、大怨トハ、兼
 テ其人ニ意恨アルナリ、意恨アル者ハ、人取ア
 ツカヒテ和睦スル者ナリ、然レモ表向キハ和
 合シテモ、心ノ中ニハ怨ミ殘ル、是人情ナリ、其

通リニテハ、和睦モ益ナシ、和睦スルカラハ、一
 向心ニ殘ルヲナキ様ニアル可キナリ、
 是以聖人執左契而不責於人。
 左契トハ、手形ノ一ナリ、凡ソ古ノ時、物ヲ假シ
 借リスルニ、手形ヲ以テ證據トス、一枚ノ手形
 ヲ中ヨリニツニ割り、其左ヲ假シ至此ヲ藏シ
 置キ、右ヲ借ル者ノ方ニ藏ノ證據トス、是通法
 ナリ、左契ヲ取テサヘ置ケハ、何時モ催促ノ是

ヲ取ルニ彼方ヨリ申分ハナキナリ然ルニ聖
人ハ其左契ヲ所持シタルノミニテ用ニ立ル
一ハナシ、サキモトカ損ヲカケタリ凡夫ヲモ
寛恕ノ責ルト云フ一ハナシ、俗ニ所謂證文カ
モソヲイフ時節ハナキナリ是ハ財用假借ノ
一○事ヲ以テ譬ヘニスルナリ、聖人ノ仕方ハ萬
事其通りニテ此方ニハイヤオウナラヌ理窟
ハアレ凡夫ヲ言ヒ立テス向フノ無理ナル願

ヲモ其通ニノ置クナリ、夫故意恨ノ殘ルト云
フ一決シテナキナリ、
有徳司契。無徳司徹。

徹トハ、證文ノ表ニヨリテ、理ノ當然ニ捌キヲ
付ルナリ、契ヲ用ニ立ルト立テサルトハ、其人
ノ徳義ニヨル、徳アル者ハ、契ヲナラシメキテ
用ニ立テス、是司契ナリ、徳ナキ者ハ、夫ヲ取り
出メ、是非凡證文ノ表ニヨツテ取り計フ、是司

微ナリ、天道無親。常與善人。右ハ如クナレハ、徳アル者ハ、證文ヲ用ニ立テ、
 ス、始終身ノ損ヲスル譯ナリ、然レモ左様ハ善人ニナリテハ、
 天道ヨリ其ミカタヲナサル故、運窮マリテ行キ仆レスルト云フハ、決シテナキトナリ、
 天ハ萬物ノ命ヲ制スル者ナリ、天道ヨリ御覽メ、其善人タルヲ、
 御推察アル故、

萬事ニ付テ、天ノタスケアルナリ、夫故何ニモ心遣フコトナシ、
 此章ノ主意、物事ヲ刻薄ニスルハ、利勝手ノ様ナレモ、實ハ然ラス、
 寛恕スル程、却テ運ニ叶フ者ナリ、平人ノ身ノ上ニ、此ノ如キ類極テ多シ、
 聖人ハ之ヲ萬事ニ用ヒ玉フ故ニ、猶更其功德大ナルコトナリ、

小國寡民章

小國寡民。使有什伯人之器而不用。使民重死而不

遠徒。

老子解卷下

三

此章ハ、天下ヲ治ル一ヲ云ヘリ、言コ、口ハ、我
 ヲメ天下ヲ治メシメタラハ、此ノ如クアラシ
 ムヘシトナリ、小國トハ、國ヲ小ニスルナリ、寡
 民トハ、民ヲ寡クスルナリ、天下ノ治マリ難キ
 ハ、諸侯ニ大國アル故ナリ、我ヲメ天下ヲ治メ
 シメハ、諸侯ノ内ニ、大國ヲ立テス、盡ク其國ヲ
 小ニス可シ、國小ナレハ、民モソレニ從テ寡ク

ナルナリ、什伯人之器トハ、或ハ舟車、或ハ武具
 ナト、諸侯ノ所持セテ叶ハヌ道具ヲハ、什人前
 カ、百人前カ具ヘラケル、是モ具ヘタルノミニ
 ノ、用立ツ一ハナキ様ニスルナリ、又民百姓ノ
 風俗、命ヲ大切ニスル一ヲ至意トメ、過分ノ望
 ミヲセス、故郷ヲ去テ他國ニ往キ、立身ヲ望ム
 ナト云フ一、カツテナキ様ニスルナリ、此三句一
 章ハ大意ナリ、

老子解卷下

三

雖有舟輿。無所乘之。雖有甲兵。無所陳之。使民復結繩而用之。

此段ハ、十百人ノ器アツテ用ヒスト云フヲ羨ケテ之ヲ釋シタルナリ、舟アリ車アリト雖、他邦ニ往クナケレハ、之ニ乘ルニ及ハス、甲兵アリト雖モ、合戦スルナケレハ、之ヲ陳スルニ及ハス、又昔ハ文字ナクメ、繩ヲ結ヒテ物事ノ心覺ヘニセシ如ク、文字書契ヲトリ用ル

ホトノ夕午イリタルハナク、再ヒ古昔ノ如ク、繩ヲ結ヒテ、是ヲ用ル様ニアラシメントナリ、甘_ニ其食。美_ニ其服。安_ニ其居。樂_ニ其俗。隣國相望。雞狗之聲相聞。民至老死。不相往來。

此段ハ、死ヲ重シノ遠ク遷ラスト云フヲ羨ケテ之ヲ釋セリ、甘_ニ其食トハ、己カ用ヒ來レル疏食ヲ天下ノ美食ノ如ク思フナリ、是ハ世上ニ美食ト云フモノアルヲ知ラヌ故ナリ、美_ニ其

服、安其居、樂其俗、亦同意ニテ、疏服ヲ美服ト
 思ヒ、不自由ナル居宅ヲ朱門雕牆ノ如クニ思
 ヒ、田舎ノ風俗ヲ都ニ勝ル様ニ思フ、皆世間ノ
 事ヲ見聞セ又故ナリ、鄰國相望、雞狗之聲相聞
 トハ、至テ近キ所ヲ云フナリ、五町カ三町ノ隔
 テニテ、彼雞狗ノ聲モ此ニ聞ヘ、此ノ聲モ彼コ
 ニ聞ユル程ニアリナリ、然レモ其中ニ生長ス
 ル民、老死ニ至ル迄互ニ往來スルハナキナ

リ、是ハ何事モ其地限りニテ、用事辦スル故ニ、
 自然ト界ヨリ外ヘ出ルハ無クテスム様ニ
 ナルナリ、
 老子此書ヲ著ス、身ヲ脩ムル爲メノミニ非
 ス、天下ヲ治メシカタメナリ、故ニ一部ノ終リ
 ニ至リテ、道ヲ以テ天下ヲ治ムルノ功用ヲ形
 容メ、人ニ示シタル者ナリ、言コ、口ハ、我ヲノ
 天下ヲ治メシメハ、此ノ如クスヘシ、然ラハ當

世ノ如ク、文華ナルヲモナク、又合戦争奪スル
 一モナクシテ、天下太平ナラントナリ、小國寡
 民ト云フ一ヲ、古來ヨリ試ニ小キ國寡キ民ヲ
 得テ治メタラハト云フ一ニ解ケリ、甚誤レリ、
 老子ノ意ハ、天下ヲ治ムルニアリモシ、唯一ノ
 小國ヲ右ノ如クニ治メタリ、隣國ヨリ來リ
 侵ス一アラハ、何ヲ以テカ無事ナル一ヲ得ニ
 ヤ、故ニ前ニ釋セシ如ク、國ヲ小ニシ、民ヲ寡ク

スルノ義ニ見ルヘキナリ、古ノ制ニ、大國ハ百
 里ニ過キスト、定メタレトモ、其實ハ晋楚齊秦
 ナトハ、初ヨリ數百里ノ地ナリ、是小國ヲ并吞
 スル故ニ、人爭奪ノ基ナリ、且又民モ封境ノ外
 ハ、自由ニ往來スル者ナレハ、百萬石ノ國ナレ
 ハ、民モ百萬石ノ中ヲ往來ノ、其中ニアル一ヲ
 殘ラズ見聞スルナリ、一萬石ナレハ、一萬石ノ
 間ノ事ニ限ルナリ、故ニ國ヲ小ニスル程、民ノ

外。出。ス。ル。一。遠。カ。ラ。ス。其。見。聞。ス。ル。所。狭。ク。メ。世。
上。繁。華。ノ。風。俗。ニ。遷。ル。一。ナ。キ。ナリ。老。子。ノ。心。ハ。
我。モ。シ。天。下。ノ。宰。タ。ラ。ハ。今。ノ。諸。侯。ノ。數。千。ア。ラ。
ハ。是。ヲ。五。千。ニ。モ。一。萬。ニ。モ。分。テ。百。里。ノ。國。ヲ。
ハ。五。十。里。カ。三。十。里。ニ。ス。ヘ。シ。此。ノ。如。ク。ス。レ。ハ。
天。下。ハ。治。リ。易。シ。ト。ナリ。

信言不美章

信言不美。美言不信。

此章ハ、八十一章ノ終リニテ、老子自ラ著書ノ
大意ヲ殘ラス掲ケタルナリ、先ツ第一一人ノ
言ニ信言アリ、美言アリ、信言ハ、何事モ實情ヲ
言ヒタル故、聞テ格別味ノアルトイフ一ハナ
キナリ、美言ハ、昔キ言ナリ、美ハ昔シト云フ心
ナリ、是ハ如何ニモ味アル様ニ覺ユレト、元來
虚ヲ飾リタル言ニテ、誠ノ用ニ立チカクシ、
善言不辯。辯言不善。

又言ニ善言トテ人ノ爲メニナル言アリ、是ハ
辯舌ニ任セテ、スラエラト言ヒタル言ニハ非
ス、夫故聞者耳ニ通徹メ感心スル様ニハナキ
ナリ、辯言トハ、自由自在ニ辯ヲ馳セテ、面白キ
様ニアレト、人ノ爲メニハナラヌナリ、
知者不博。博者不知。

又人ノ言ニ知者ノ言アリ、是ハ信實ノ道理ヲ
見タル者ニテ、博學多聞ニ亘ルナリ、博者ト

ハ、種々ノ道具ヲ澤山ニ並ヘ立ル、白人夕マシ
ノ學問ニテ、親切ノ言ニハ非ス、

以上ノ三説、大抵一意ナリ、老子ハ、平生信言ヲ
言ヒテ、美言ヲ言ハス、善言ヲ言ヒテ、辯言ヲ言
ハス、學問ノ流義モ、簡要的實ナル道理ヲ言ヒ
テ、道具ヲ澤山ニスルナリ、故ニ世俗ニ合ハス、
五千言皆其通りナリ、聞人篤ト信美善辯知不
知ノ差別ヲ知りテ、而メノ千五千言始メテ用

二立ナリ、是迄テ此章ハ上節トス、
聖人不積。既以爲人已愈有。既以與人已愈多。

叔右ノ言ニ品アルヲ知リテ、而メノチ五千
言始メテ用ニ立ナリ、夫ニ付テ第一簡要ノ心
得ハ、老子ノ道ハ、無欲ヲ貴フ、常人ハ金銀財寶
ヨリテ、一切ノモノ、皆已ニ積ニ蓄フルヲ貴フ、
老子ハ少モノ已ニ蓄フルト云フ、一ナク之ヲ散
メ人ト共ニスルナリ、是世人ノ第一ニ難スル

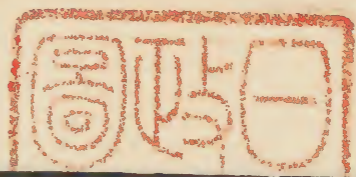
處ニテ、トテモ行ヒ難シト思ヘリ、其實ハ人ハ
爲メニスレハ、已カ物ハ愈有リ、愈多クナル者
ナリ、其證據ハ、范蠡再タヒ千金ヲ散シタレト
モ、其身ハ愈富有ニテ、陶朱公ト云フ天下第一
ハ福人ニナレリ、漢ノ文帝ハ、屢租稅ヲ免サレ
タレ、庠、庠、庠、庠、庠ハ益富ニテ、太倉ノ粟、陳々相
因ト云フ様ニナレリ、是ヲ以テ、積マサルノ利
益ヲ知ル可シ、此道理ヲ篤ト腹ニ入ルヘシ、是

老子ノ道ヲ行フニ付テ第一ノ心得ナリ是迄
ハ中節トス、

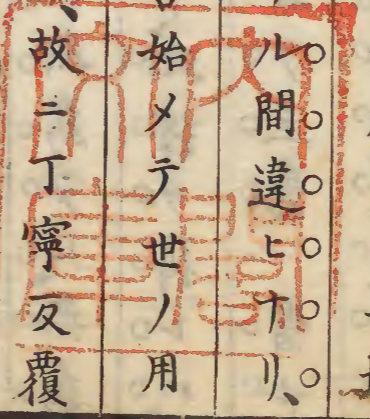
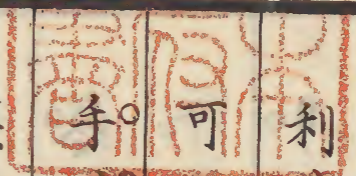
天之道利而不害。聖人之道爲而不爭。

猶又第一ノ極秘ノ傳アリ、允ソ天地間ノ道理、
前ニ一利アレハ、後ニ一害アリ、是ハ第二章ニ
委ク述ヘタルカ如シ、物ノ數ニテ、知者七如何
比スル一能ハサル所ナリ、唯聖人其秘訣ヲ得
玉フ故ニ、上善ヲナシテ、天道ニ則リ五ヘリ、老

子ノ道ハ、無爲ヲ貴フ、然レ比爲ノ爭ハサレハ、
如何程ナシテモ害ナシ、無爲ノ無爲タル、無爲
ニアラスシテ、爭ハサルニアリ、此譯ヲ得レハ、
終日ナシテ、未嘗テナサスト云フ主意、當ル
ナリ、全篇一利一害相並フヲ論シ、卷末ニ至
リテ、利アツテ害アラスト云ヒ、一部無爲ヲ主
トメ、卷末ニ至リテ爲而不爭ト云フ、是老子第
一ノ秘訣ナリ、是ヲ下節トス、



大略右ノ通ニテ、先ツ最初ニ、立言ノ體ヲ合点
 シ、而ノチ此書讀ムヘシ、其次ハ、無欲ハ身ノ
 利益タルヲ篤ト知リテ、老子ノ言ニ安ンス
 可シ、猶其上ノ極意ハ、無爲ノ中ニ爲アリ、一
 手ヲ出サヌト心得ルハ、大ナル間違ヒナリ、
 其所ヲ篤ト合点スレハ、五千言始メテ世ノ用
 ニ立ナリ、是ハ一部ノ終リナリ、故ニ丁寧及覆
 寫ノ極意ヲ明カス者ナリ、



三三三三三

豊後 廣瀬求馬著

安政五年戊午六月

發行書林

須原屋茂兵衛

江戸日本橋通壹丁目

